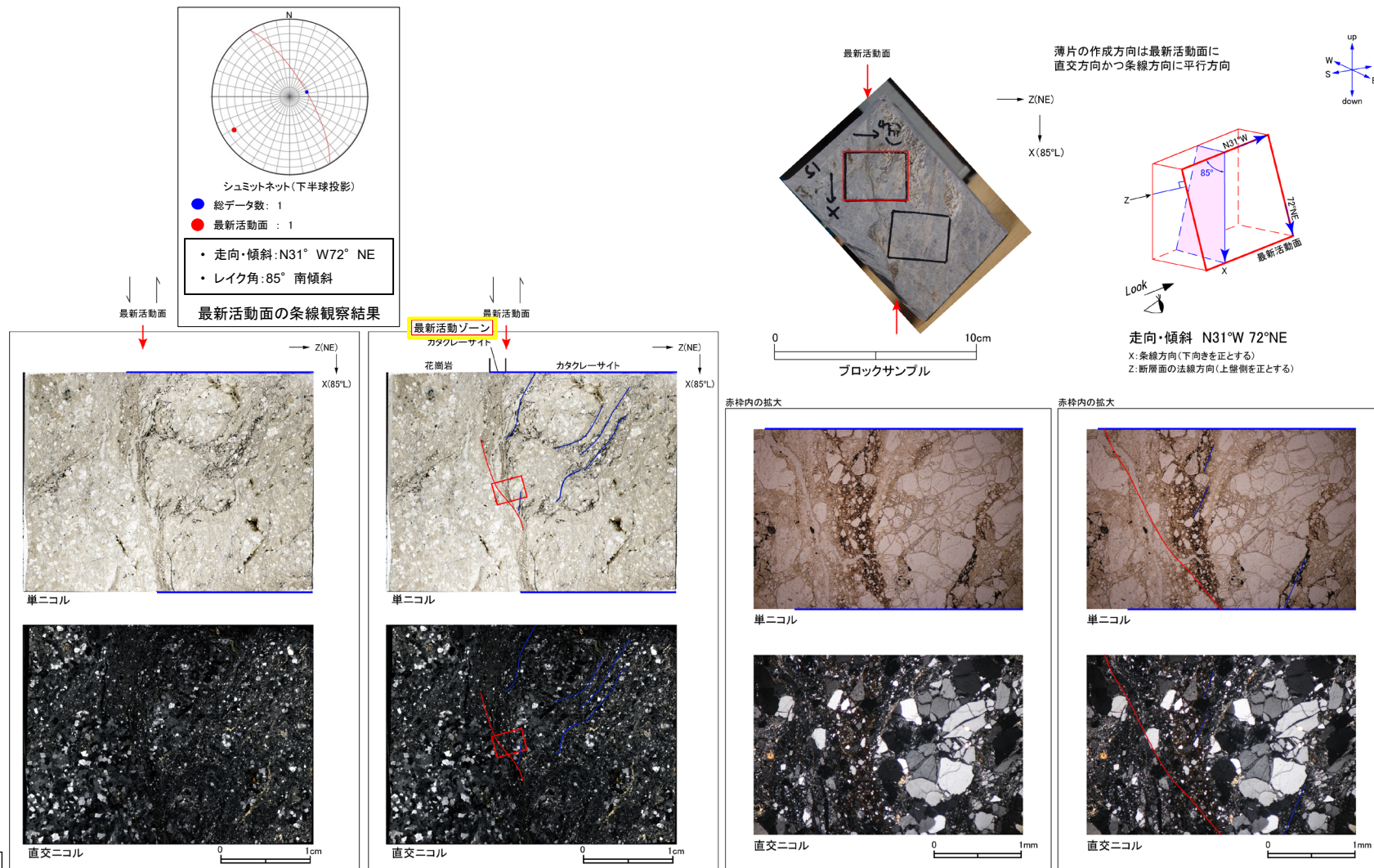


H24-D1-1 深度68.84~69.00m 非モデル化破砕部

・H24-D1-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度68.93m)の変位センスは、逆断層成分が卓越する。

・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことや、一部に鉱物の粒界を横断する破断面が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

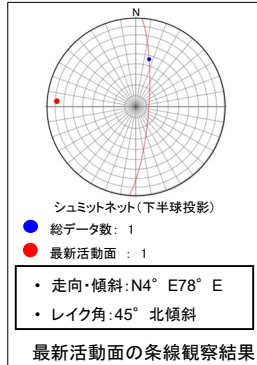


凡例

- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H24-D1-1 深度78.77~79.19m 非モデル化破砕部

- H24-D1-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度79.19m)の変位センスは、右ずれを伴う逆断層である。
- 薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことから、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)

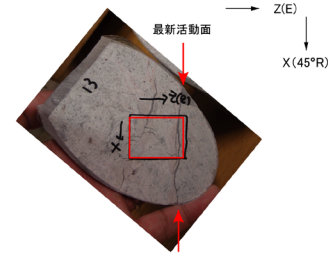


最新活動面

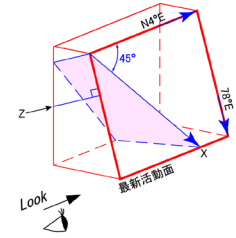
最新活動面の条線観察結果

最新活動面

最新活動ゾーン

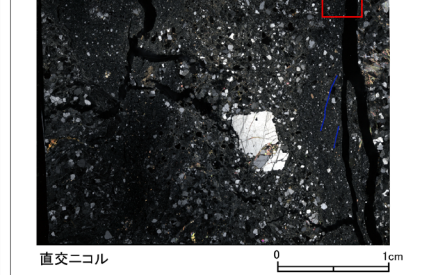
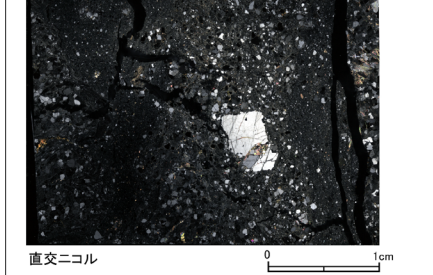
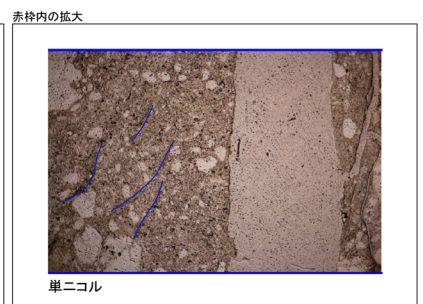
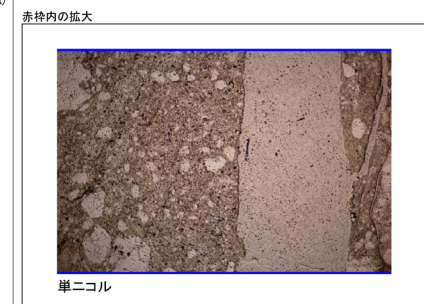
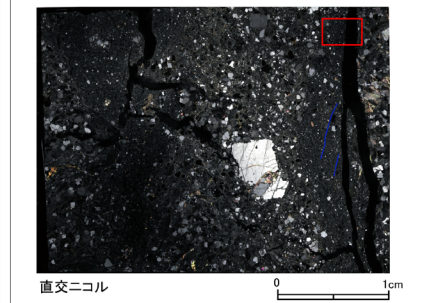
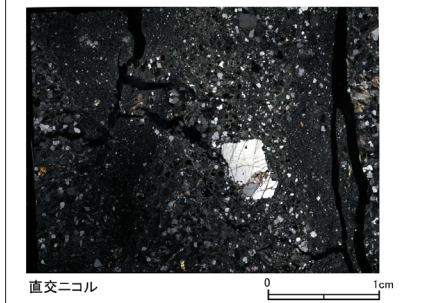


薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



0 10cm
ブロックサンプル

走向・傾斜 N4°E 78°E
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

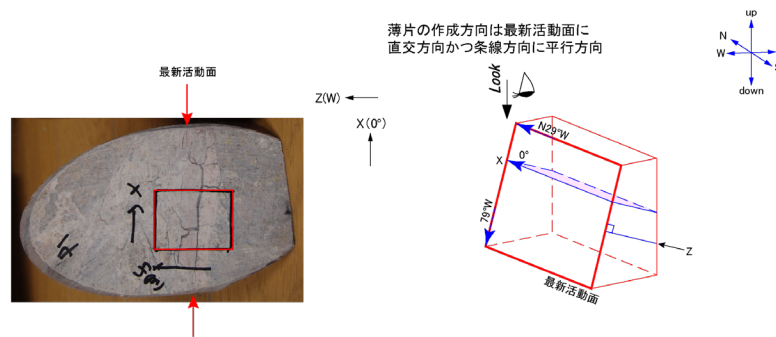
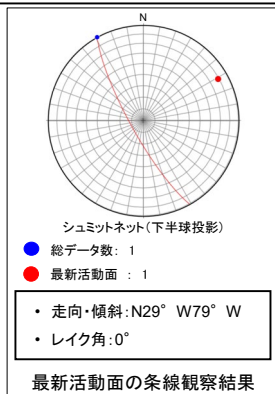


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

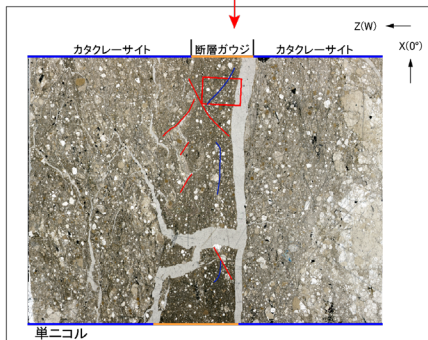
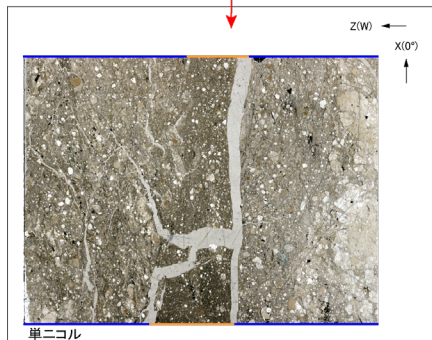
H24-D1-1 深度81.20~81.42m 非モデル化破砕部

・H24-D1-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度81.30m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。

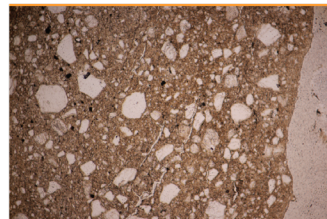
・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



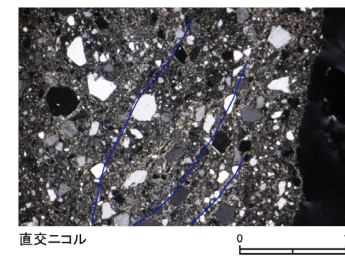
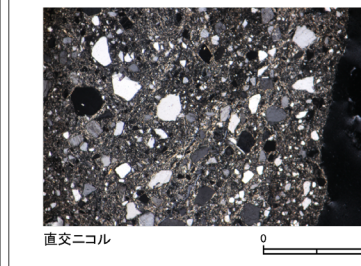
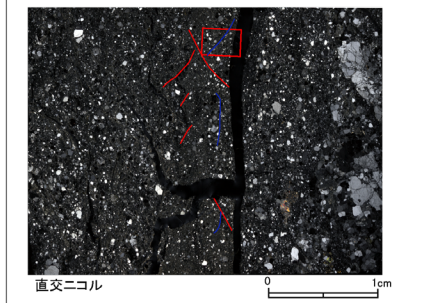
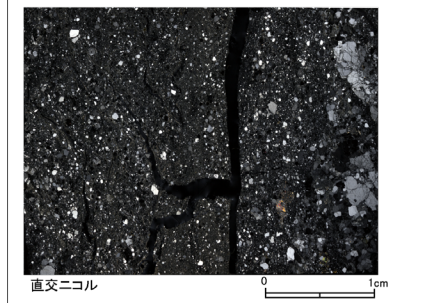
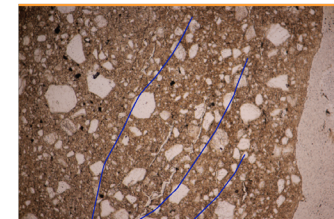
走向・傾斜 N29°W 79°W
X: 条線方向(北向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)



赤枠内の拡大



赤枠内の拡大

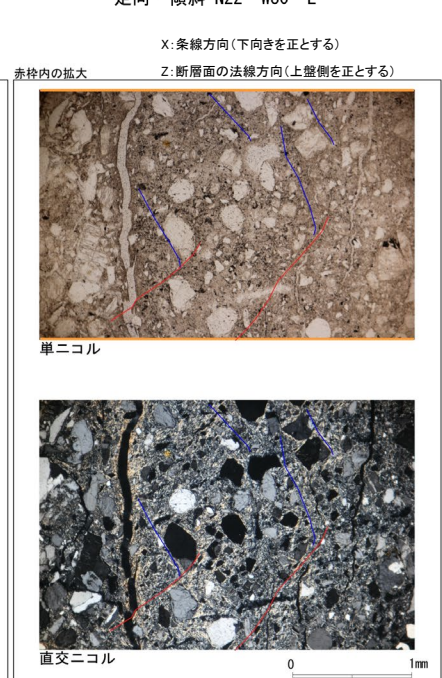
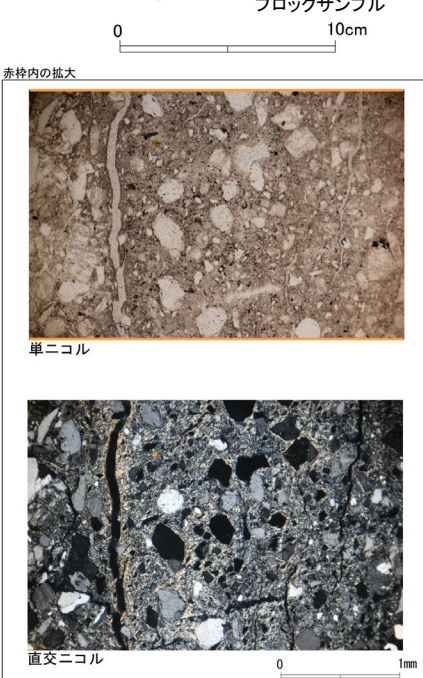
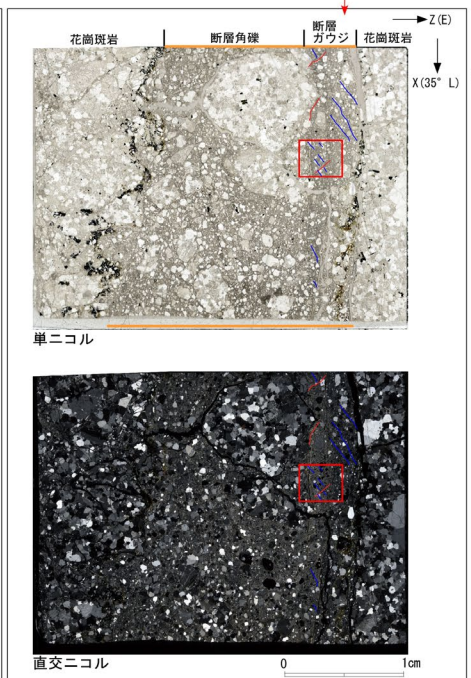
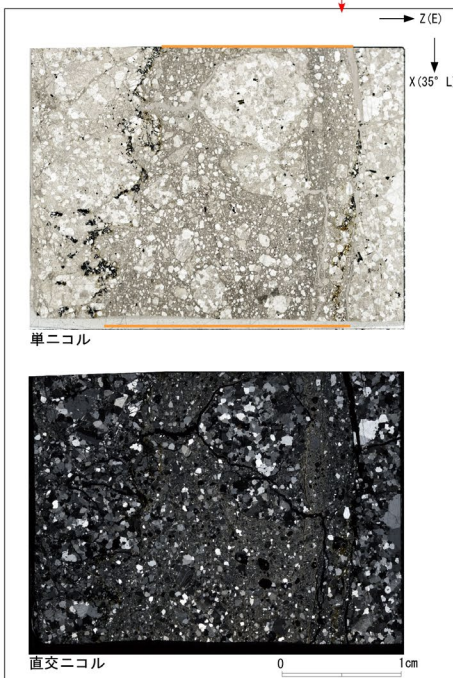
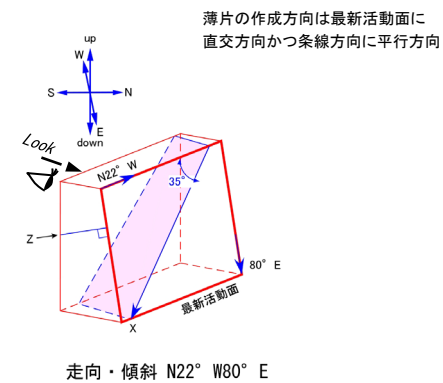
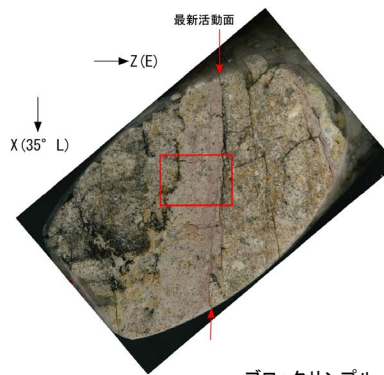
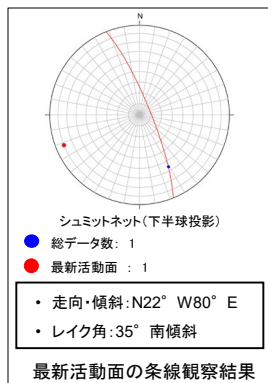


- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H24-D1-1 深度89.91~89.95m D-33破砕帯

・H24-D1-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度89.95m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。

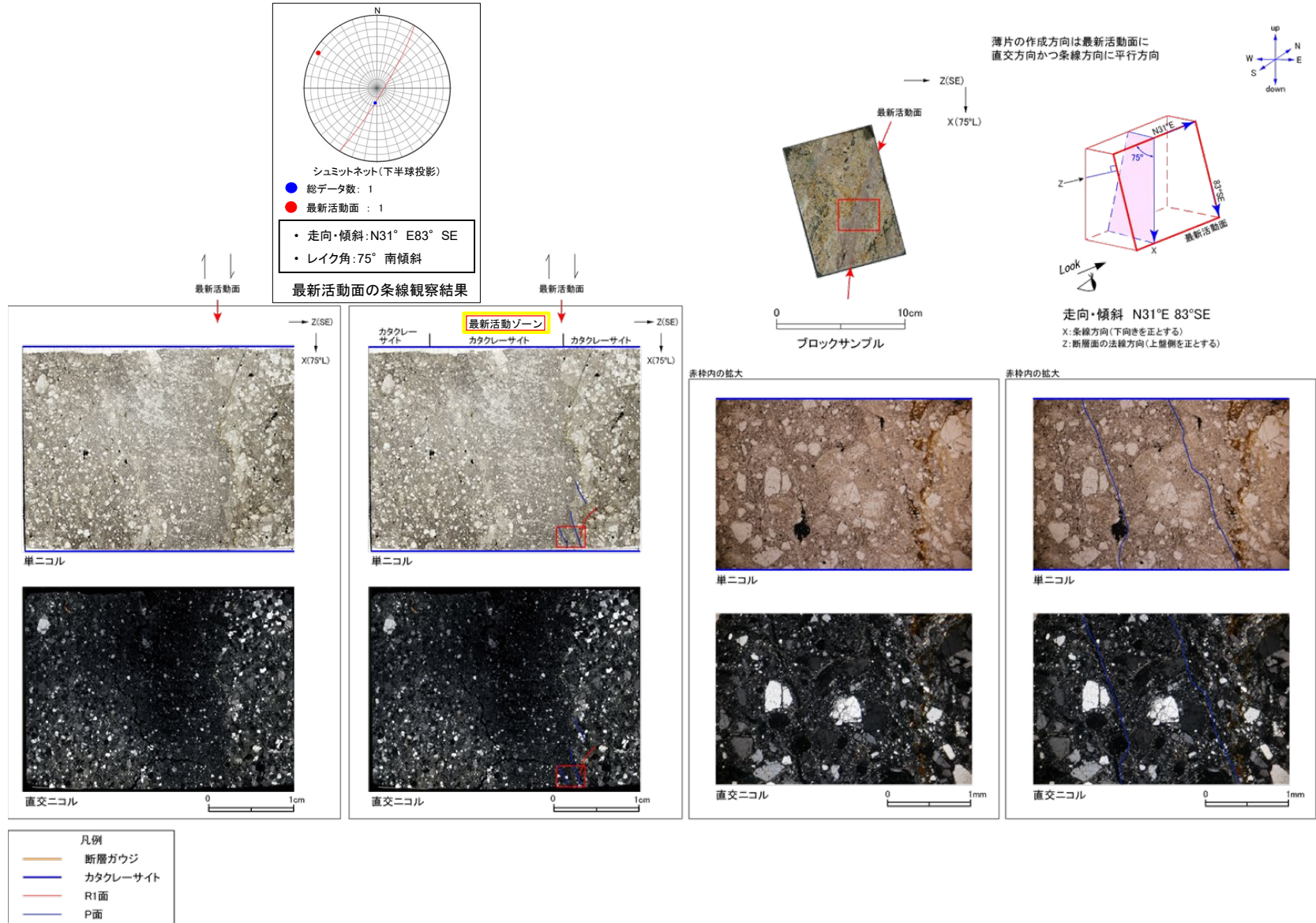
・薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が多く認められることから、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



- 凡例
- 断層ガウジ・断層角礫
 - カタクレースイト
 - R1面
 - P面

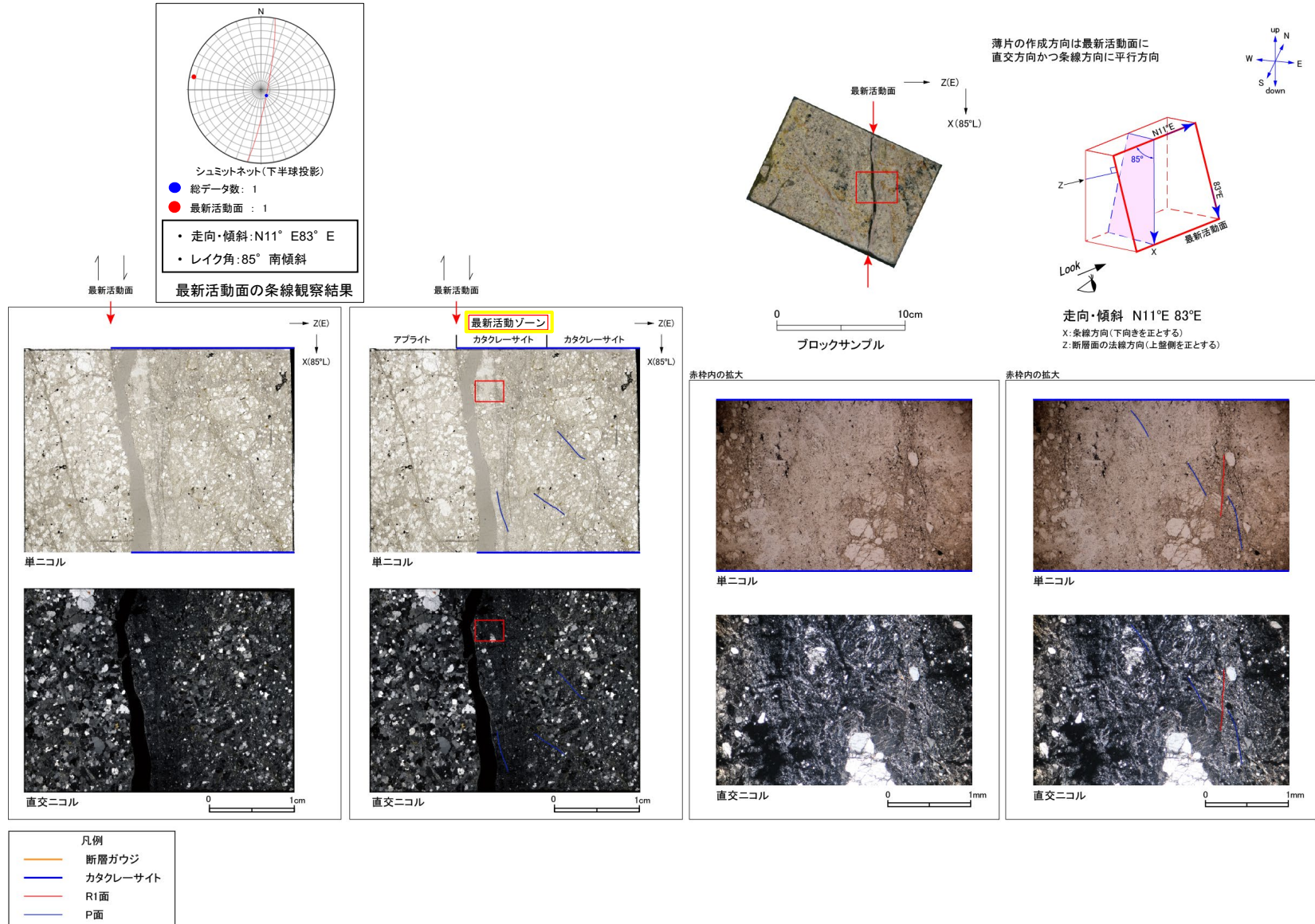
H24-D1-1 深度91.26~91.52m f-d1-1-11破砕帯

- H24-D1-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度91.31m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。
- 薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことや、一部に鉱物の粒界を横断する破断面が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



H24-D1-1 深度93.12~93.24m 非モデル化破碎部

- H24-D1-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度93.20m)の変位センスは、正断層成分が卓越する。
- 薄片観察に基づく断層岩区分の評価を行った結果、最新活動面付近に基質を構成する粘土鉱物が少なく、多様な粒径の岩片・鉱物片を細粒基質中に多く含むことや、一部に鉱物の粒界を横断する破断面が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破碎部と判断した。(追加した文献も踏まえても変更なし。)



直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

最新活動ゾーン

Z(E)

X(85°L)

単ニコル

直交ニコル

Z(E)

余白

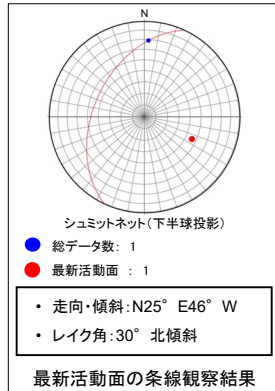
H27-B-1

余白

H27-B-1 深度34.54~34.59m 非モデル化破砕部 (1/2)

- ・H27-B-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度34.59m)の変位センスは、左ずれを伴う逆断層である。
- ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施したところ、以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。

- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 粘土鉱物は最新活動ゾーンから外側へ漸移的に減少する。
- 多様な粒径の岩片が多く認められる。角礫主体であり、粒界を横断する破断面やジグソー状の角礫群が認められる。

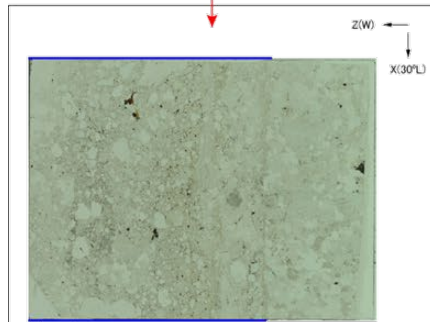


最新活動面

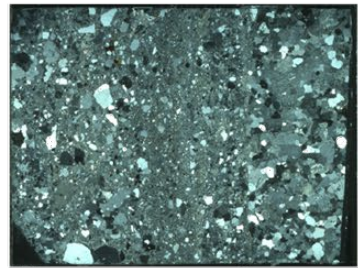
最新活動面の条線観察結果

最新活動面

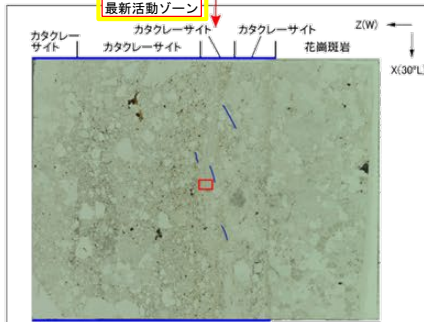
最新活動ゾーン



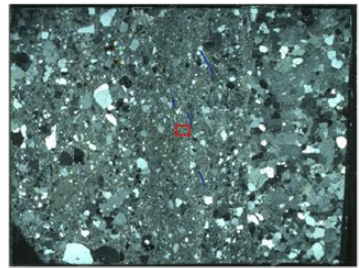
単ニコル



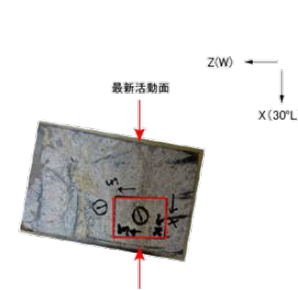
直交ニコル



単ニコル

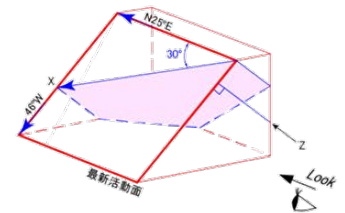


直交ニコル



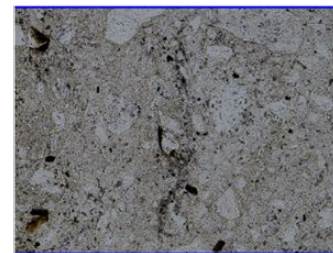
0 10cm
ブロックサンプル

薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向

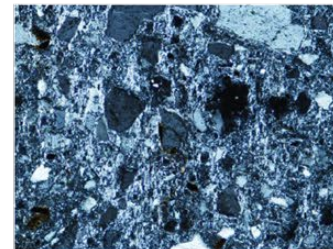


走向・傾斜 N25°E 46°W
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断層面の法線方向(上盤側を正とする)

赤枠内の拡大

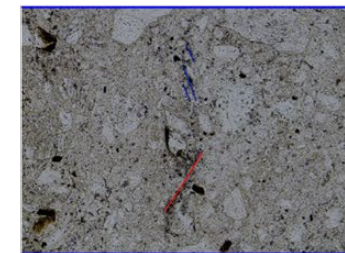


単ニコル

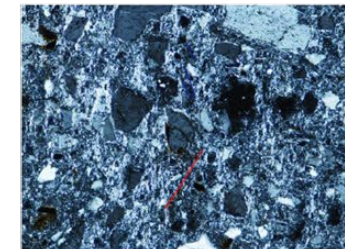


直交ニコル

赤枠内の拡大



単ニコル



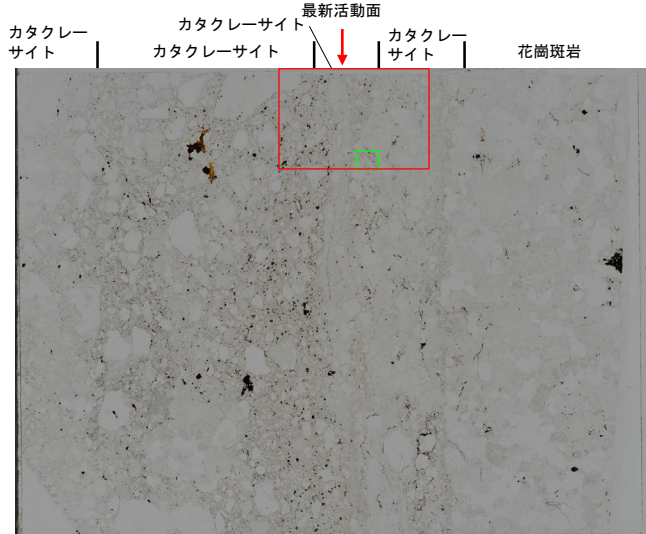
直交ニコル

凡例

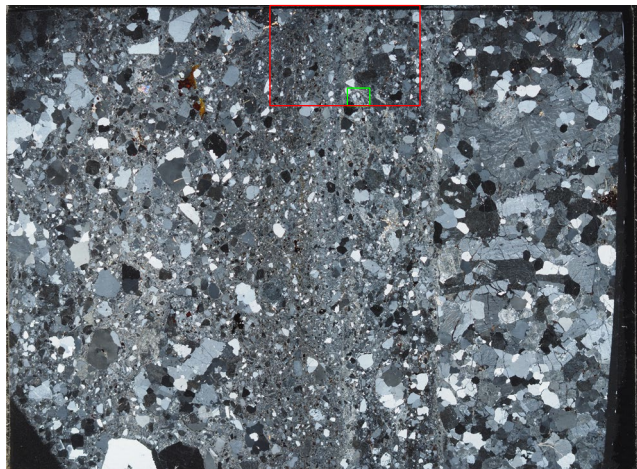
- 断層ガウジ
- カタクレーサイト
- R1面
- P面

H27-B-1 深度34.54~34.59m 非モデル化破碎部 (2/2)

- ・最新活動に伴うゾーンについては、以下の特徴が認められる。
 - 粘土鉱物は最新活動ゾーンから外側へ漸移的に減少する。(粘土状部は帯状の分布を示さない。)(図1)
 - 岩片は角礫主体でジグソー状の角礫群が認められる。(図2)

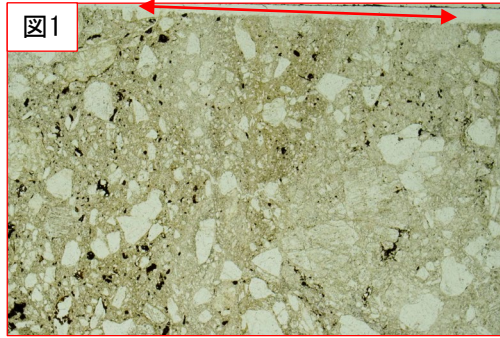


単ニコル

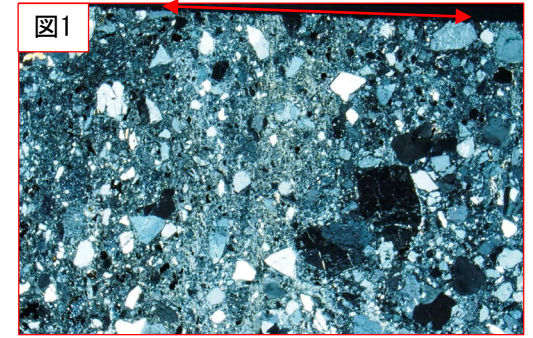


直交ニコル

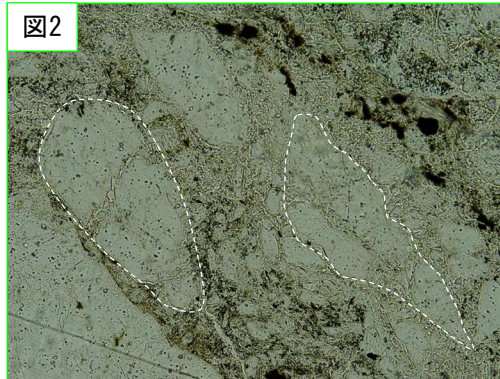
0 1cm



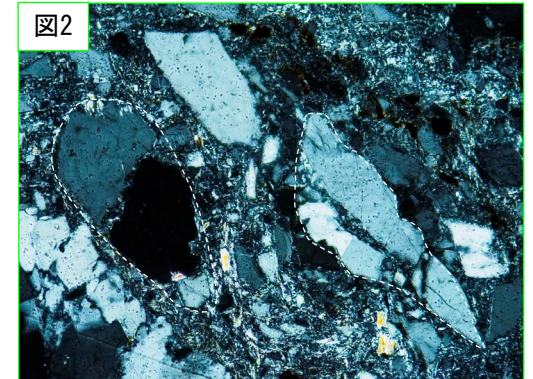
赤矢印: 粘土鉱物が漸移的に減少する。



1 mm



破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す。



200 μm